

弘前警察署の重点路線・重点地区（令和6年7月～12月）

	重点路線(地区)	指 定 理 由
1	国道7号	交通量が多い主要幹線道路で、過去3年間の事故発生件数は管内の路線別で1番多く、死亡事故が1件、重傷事故が5件発生している。高速度による重大事故の発生が懸念されることから、速度抑制の指導取締り及び交差点関連違反の対策が必要である。
2	国道339号BP	国道7号に次ぐ主要幹線道路で、過去3年間で重傷事故が1件発生している。板柳署との統合により延長された路線であり、重大事故の発生が懸念されることから、国道7号と同様の対策が必要である。
3	主要地方道弘前鱒ヶ沢線	過去3年間の事故発生件数については若干減少に転じたものの、路線別の発生件数では2番目に多く、重傷事故が2件発生している。交差点関連違反に起因する事故の発生も見られることから、速度抑制対策とともに交差点関連違反対策が必要である。
4	県道石川百田線	事故発生件数は減少に転じているものの、死亡事故が1件発生している。国道7号から市内へ流入する路線であり、実勢速度が速い傾向にあることから、速度抑制等の総合的な対策が必要である。
5	弘前駅前交番管内	過去3年間の発生件数は増加傾向にあり、横断歩行者等妨害等に起因する事故の発生が管内で2番目に多い。弘前駅や商業施設がある地域であり、交差点関連違反に起因する交通事故の発生が見られることから、交差点関連違反に重点を置いた取締りが必要である。
6	中央交番管内	人身事故の発生件数は減少に転じたものの、横断歩行者等妨害等に起因する事故の発生が管内で1番多い。同所は商業施設や歓楽街があるため昼夜ともに交通量が多く、一時不停止、横断歩行者等妨害等、信号看過に起因する事故の発生が認められることから、交差点関連違反に重点を置いた取締りが必要である。
7	柵形交番管内	人身事故の発生件数は増加に転じており、管内で2番目に多く、自転車が関係する事故及び一時不停止に起因する事故の件数は管内で1番多い。同所は学校及び商業施設を抱えた地域であり、交差点関連違反に起因する事故の発生が多いため、交差点関連違反対策が必要である。
8	城東交番管内	人身事故の発生件数は増加傾向であり、管内で1番多く、信号看過に起因する事故が管内で1番多い。国道7号や商業施設があることから昼夜ともに交通量が多く、事故の発生が懸念されることから、交差点対策に重点を置いた取締りが必要である。

※ 重点路線・重点地区以外の場所であっても、取締りを実施することがあります。

弘前警察署の交通指導取締り方針（令和6年7月～12月）

	重点路線(地区)	重点的に取締りを実施する違反種別						
		速度超過	信号無視	一時不停止	横断歩行者妨害	飲酒運転	通行禁止	自転車関係
1	国道7号	○	○					
2	国道339号BP	○						
3	主要地方道弘前鱒ヶ沢線	○	○					
4	県道石川百田線	○						
5	駅前交番管内		○	○	○			○
6	中央交番管内		○	○	○	○		
7	柵形交番管内			○	○		○	○
8	城東交番管内		○	○	○			

※ 重点指定されていない違反種別についても、取締りを実施することがあります。